

## 令和4年度 狭山市立西学校 学校自己評価・学校関係者評価表

※ 【学校自己評価の目安】

A：よくできている。 B：概ねできている。 C：あまりできていない。 D：できていない。

領域	番号	評価項目	学校自己評価		説明	学校関係者評価委員から	
			R4	R3		評価(文章表記)	
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	A	・学校教育目標に関連する項目について、生徒及び保護者の評価結果は高い数値を示している。 ・清掃については、無言清掃への取り組みに対して、教員の中でも指導についての認識にずれがあり、生徒の評価についても前年度を下回っている。次年度は、清掃への取り組みについて、校内で共通認識を図り、生徒と教員が同じベクトルで取り組めるようにしたい。	・学校の重点目標や教職員の教育活動が高評価なのは素晴らしい。校内安全点検にICTを取り入れたことも評価できます。 ・学校運営協議会で、校長先生から重点目標について説明を受け、生徒にもわかりやすい、とてもよい目標だと思いました。 ・生徒や子どもを支える保護者を思いやる学校の思いを理解することができた。 ・コロナ禍でバランスを取るのが難しい1年だったのではないかと思います。 ・コロナ禍の教育活動を様々な対策を講じながら、一丸となって行っている。	
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	B	B	・校内の安全点検にICTを取り入れ、報告や集計の利便性の向上を図った。しかし、施設や設備の老朽化が進み、修繕が追いつかない状況が続いている。限られた予算を有効に活用するため、生徒の安全と学習活動を保証するため、優先順位を決め計画的に学校を整備する必要がある。	・一度学校まわりクラスを見学してみたの感想ですが、整理整頓して掃除もゆきとどいていました感想です。 ・清掃については評価が下がったようですが、事務室玄関から会議室までは、きれいに清掃がゆきとどいていました。 ・清掃への取り組みは評価を下げたが、改善に向けた対策もできているので、次年度に期待します。	
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A	A		・無言清掃について、『学校評価(生徒)』を見ると「生活への取り組みについて」の評価が全体的に低めになっている。しかし、先生方の規律ある態度、生徒指導の評価は悪くないので、それらを考え合わせると、自らの生活態度を律しようとする生徒が多いのではないかと思います。 ・タブレットの運用について、出来ること、出来ないこと、現状のルールで可能なこと、やってはいけないこと等、まだまだ検討が充分なされないままになっていると感じる。持ち帰った端末から生徒のIDで保護者がログインする等、厳密に言えば不正アクセスになり得る運用も見受けられるので、ICT端末の運用については引き続き検討、対策を講じていただきたい。	
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	B	A		・昨今増加傾向が強い不登校に関して、やはり学校や教職員だけの対応では限界がある。教職員の労働時間を考慮すると時間が足りないこと、時間的制約が大きいことが主因ではあるが、同時に専門知識のある人員が少ないのも大きな要因。PTAからも働きかけは行っていくつもりだが、学校側からも、専門知識のある人と繋がる【仕組み】を作り、維持できる様、働きかけをお願いしたい。	
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	B	B		・制服デザイン決めでは、生徒に、より良い品質な物を、保護者への経済的な負担軽減の配慮(未来を見据えても)、メーカーとの本契約も公開する等、お金で示して下さることは、本当にわかりやすく助かるし、校則を見直すことも、家計を支えることに繋がるので有り難い。	
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	B	・教員は、生徒の個に応じたわかる授業に努めているが、未だ生徒の学力向上には課題があり、教員の授業改善が不可欠である。	・授業改善について、先生方が問題意識を持って取り組んでいることはとてもよいことだと思います。 ・基礎的基本的事項を重視し、深い学びを促す授業に取り組んでほしい。	
	7	生徒は、落ち着いた学習に取り組んでいる。	A	A	・生徒の、規律ある授業態度についての評価は高く、教員の認識も同様であり、落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。 ・生徒の、家庭学習への取り組みについての評価は、生徒アンケートの中で最も低いものであり、大きな課題となっている。小学校とも連携し、また、ICTを活用するなど、具体的な改善策を検討する必要がある。	・子どもから、学ぶ楽しさを感じることもあるが、(大抵はそうです)中には、教科によっては、授業がつまらない、と言う言葉を子どもから聞いたことがある。生徒が退屈しないような授業内容を、先生側も、今一度、見直すことも必要なのか、? と思った。受験対策など、子ども達を支えて下さる授業内容を子どもから聞くので有り難い。	
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	B	B		・学校評価を見て、家庭での学習に取り組みに力を入れてほしいです。 ・教員や生徒の努力は感じるが、結果に表れていないのは悔しいところだ。家庭学習の取り組みができていない結果から、生徒の学習に対する認識の核となる部分が弱く、授業中に学び取る意識も弱いを感じる。普段の努力が惰性とならない、工夫が必要だと思う。	
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	C	C		・家庭学習の習慣化は、本校でも、そして他校でも大きな課題です。本校では、長期休業中は自習室を設けています。	
	10	生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	B	B		・家庭学習や不登校の問題など学校だけでは難しいかと。 ・非認知能力の学習も必要。	

# 令和4年度 狭山市立西学校 学校自己評価・学校関係者評価表

※ 【学校自己評価の目安】

A：よくできている。 B：概ねできている。 C：あまりできていない。 D：できていない。

領域	番号	評価項目	学校自己評価		学校関係者評価委員から
			R4	R3	説明
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に訪問して思うことは挨拶はできています。</li> <li>・あいさつ運動や登下校の見守りを見るに、特に問題は見受けられません。あいさつに関しては、時折、犬の散歩をしても自分達から挨拶してくれる子達が居ます。</li> <li>・生徒の評価でも、清掃以外は高い評価です。先生方のきめ細やかな指導が行き届いているのだと思います。これからもオールA続けてください。</li> <li>・昨年同様に高評価なのはすばらしい。次年度も期待します。</li> <li>・教職員の一生懸命に取り組む姿勢を、生徒たちは自然と汲み取っている。これからも、生徒に寄り添った指導・支援をお願いしたい。</li> </ul>
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A	A	
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A	A	
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A	A	
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A	A	
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで感染予防に注意し、運動部活動を今後も励んでください。</li> <li>・感染予防策の影響が大きいのだろう。運動機会をつくる努力は引き続き続けてほしい。</li> <li>・体育祭での学年ごとの出し物が(中3は大縄跳び) チームワークが育ち、クラスや先生との仲も深まり良いと思う。見ている保護者も心から応援して楽しめた。</li> <li>・感染症対策も留意しなければならず、なかなか評価の難しい項目だと思います。少しずつ平常に戻っていくことを期待しています。</li> <li>・睡眠時間の問題は、携帯電話の使い方も関係してくるのではないかと。</li> <li>・朝食を食べないで登校してくる子どもがどの程度いるのか気になるところです。</li> <li>・教職員が日々健康であるために、負担軽減が求められる。</li> </ul>
	17	生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B	B	
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	A	A	
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対しては、学校だよりをはじめとした各種たよりの発行やホームページでのお知らせの他、保護者に対して便り等のデジタル配信を行った。今後は、地域に対しての発信を高める工夫を考えたい。</li> <li>・今年度は、PTA活動や、生徒の地域でのボランティアや発表会への参加が少しずつ再開されてきた。</li> <li>・ホームページには、たくさんの項目が設定されていて、十分な情報発信がされています。</li> <li>・学校運営協議会委員は、学校行事に全て、参加して良い(コロナ禍の状況による)というご配慮を頂き有り難い。コロナ禍でも、音楽祭を狭山市民会館で開き、上級生の活躍を下級生が見て学べるように、また、今回は上手く行かなかったかもしれないが、YouTubeで配信し、保護者が見れるようにしたこと、コロナ禍でも、バザーを開き、地域の方々と、野菜を育てることで食への学びや、農家の人、先生、保護者、生徒同士で交流がもて、良い経験ができたと思う。</li> <li>・学校運営協議会での取り組みを含めて、学校だけではなく、関わっている人たちが学校のことをPRしていかないと考えています。</li> <li>・地域に開かれた学校づくりを進めてほしい。</li> <li>・コロナ禍であることを差し引いても、中学は閉鎖的な印象が強いです。もっと学校のこと、子供達のことを知ってもらえることが出来ればと思います。</li> <li>・コロナ前の学校生活に戻していくことは大事だと考える。</li> <li>・今後も少しずつでもできる事に参加できれば良いです。</li> <li>・地域との連携は、学校(教員)が地域に入って行くと言うよりも、地域を学校に招き入れる機会や、地域に入って来てもらい任せるやり方を取り入れる検討をするのも良いと思う。</li> </ul>
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	B	B	